

しじょうなわて こ たし がくりよく
 四條 暇の子どもたちに確かな学力を
 なわて ☆ 家庭教育のすすめ ⁷ _{トージョシ}

なわて ☆ 家庭教育 ^{かていきょういく} “4つのすすめ”



その1 ☆ 家族で本を読む習慣をつけよう！

「読書」のすすめ

その2 ☆ 家庭学習の習慣をつけよう！

「家庭学習」のすすめ

その3 ☆ しっかり食べて元気な体をつくろう！

「食育」のすすめ

その4 ☆ 規則正しい生活リズムをつけよう！

「生活習慣」のすすめ



しょうがっこうていがくねん がくしゅうしゅうかん み つ ちやんす
 小学校低学年は学習習慣を身に付けさせるチャンス



しょうがっこうこうがくねん はったつだんかい とくせい こ おや べんきょう
 小学校高学年は、発達段階の特性から子どもによっては、親が「勉強しなさい」といっ

すなお おう ていがくねん しゅくだいがい がくしゅう と
 ても素直に応じにくくなる場合があります。低学年のうちから宿題以外の学習にも取り

く かんきょう ととの
 組む環境を整えましょう

(1) 子どもが「やりたい」と思う教材を見つける

おや おち きょうざい えら おやこ えら ほいんと
 親の思いだけで教材を選ぶのではなく、「親子で選ぶ」のがポイント

(2) 1日10分程度から始める

ほ しか おやこ と く ほいんと
 できたときは褒め、できなかったときは叱らず「親子で取り組む」のがポイント

(3) 親も楽しみながら取り組む

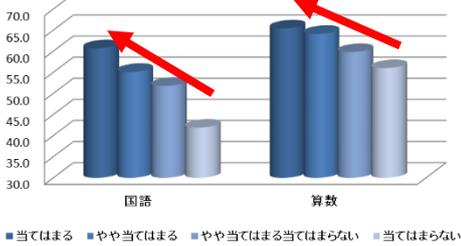
べんきょう たの かん おやこ たの ほいんと
 「勉強は楽しい」と感じさせるために、「親子で楽しむ」のがポイント



「読書」のすすめ



「読書は好きですか」正答率の相関関係



「読書は好きですか」に肯定的に回答した子どもほど、正答率が高い傾向にあります。「読書が好き」な子どもは、読んだ後に「感想や意見」を話すことも好きです。

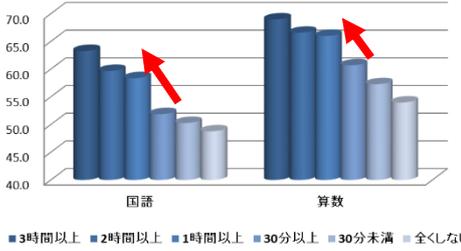
「本を読みなさい」といった声かけよりも「**どんなお話だったの？**」、「**どこがおもしろかった？**」や「**さいごはどうなったの？**」など、思いを聞き出す声かけを心がけましょう。

また、**いっしょに図書館や本屋に行く**だけでも、子どもは本に興味をもち、自然と「**読みたい本を読める**」ようになっていきます。

「家庭学習」のすすめ



1日当たりの勉強時間と正答率の相関関係



低学年では、**毎日、30分程度家庭で学習する習慣が大切**です。それは、小学6年生で勉強時間が毎日1時間以上の児童と1時間未満の児童で正答率の差が一番高い結果となったことからわかります。

最低でも30分間から1時間は、家のテレビを消す、携帯電話やスマホ、携帯ゲーム等を使用しない時間を決めて、家族みんなで実行しましょう。

「家庭学習」の習慣は、家族みんなでつくるものです。

「食育」のすすめ



朝食を毎日食べていますか

■している ■ややしている ■ややしていない ■全くしていない

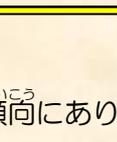


四條畷市の子どもたちは、全国と比べても「朝食を食べない」割合が高い傾向にあります。朝食を食べないと、

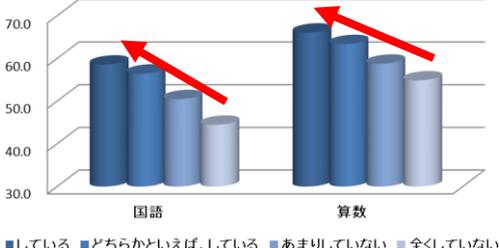
- ①学校の勉強に集中できない
- ②イライラしてトラブルにつながる
- ③体調が悪くなり、学校に行き渋る など

子どもの学校生活に大きく関係してきます。**どんなに時間がなくても必ず朝食は欠かさないように各家庭で工夫しましょう。**

「生活習慣」のすすめ



「規則正しい就寝」と正答率の相関関係



「いつも同じ時刻に寝ている」子どもほど、学力が高い傾向にあります。就寝時間が遅くなるにつれ、健やかな成長を害するほか、学校生活でも**「無気力」、「無関心」、「怠惰」、「イライラ」**などの兆候が表れてきます。遅くても「午後10時までには寝る」習慣を心がけ、楽しい学校生活を送れるようにしましょう。

そのためには、**午後9時以降は、テレビや携帯電話、スマホ、ゲームなどは使用しないようにルールを決めましょう。**



「生活習慣」に関わる四條畷市の取組み



「フォローアップ教室」

市内各会場で、開催中。
たくさんの小学生が勉強しています。
先生もやさしく教えてくれます。



「10まで（小学生は9時）運動」

ゲーム機、携帯電話やスマホ、テレビの使用は、中学生は午後10時、小学生は午後9時までが四條畷市のルールです。